

(6) 栄養教諭部会

会 長 谷山 なつこ (中村南小)

副会長 大原 景子 (具同小)

事務局 岡本 恵子 (東山小)

1. 研究主題 「安全・安心な学校給食の実現に向けて」

2. 研究の実績

実施年月日	研究のあらまし	会場
4月4日(金)	・給食主任会の準備 ・年間計画素案	スクールミール なかむらみなみ
5月7日(水)	・組織、計画	中村中
5月30日(金)	・7月、8月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
6月27日(金)	・9月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
8月28日(木)	・10月の献立交換 ・食生活調査分析	スクールミール なかむらみなみ
9月26日(金)	・朝ごはんコンテスト審査(四万十市) ・11月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
10月24日(金)	・衛生チェック ・12月献立交換	スクールミール なかむらみなみ
11月21日(金)	・1月の献立交換 ・全国学校給食週間中の取り組みについて確認	スクールミール ひがしやま
12月12日(金)	・2月の献立交換 ・レシピ集・デザートバイキングについて	スクールミール なかむらみなみ
1月30日(金)	・3月の献立交換	スクールミール なかむらみなみ
2月19日(木)	・4月の献立交換 ・今年度の反省 ・来年度の計画	スクールミール なかむらみなみ

3. 主な取り組み内容

(1) 食生活調査

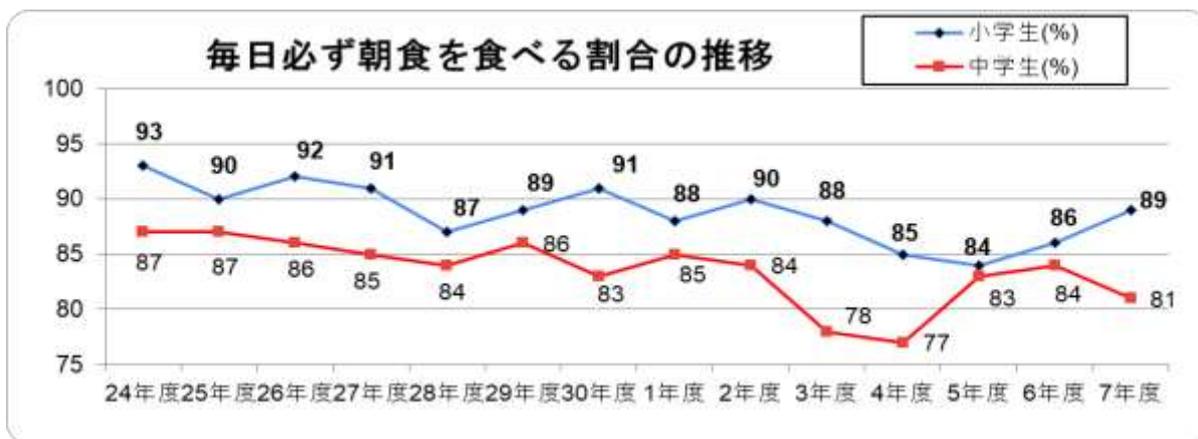
対 象 : 小学校5年生 212名、中学校2年生 245名

期 間 : 6月17日～19日のうち1日

内 容 : 朝食の摂取状況、朝食の食事内容等

情報発信 : 「給食だより(10月号)」(市内小中全員)

結 果 : 昨年度と比較すると、毎日必ず朝食を食べる割合が小学生では3ポイント増加、中学生では3ポイント減少していました。朝食内容を見てみると、「1品だけ」と回答している割合が、小中学生ともに3割程度と、栄養バランスのとれた朝食の摂取については課題がみられます。



(2) 朝ごはんコンテスト

目的：食生活調査から見える現状（朝食摂取率目標値未満、単品摂取率の増加）や、朝ごはんの大切さ等から、朝の忙しい時間でも栄養を効率的にとることができるような朝ごはんのメニュー作りを題材にコンテストを実施し、自らの力で朝ごはんを準備する力を育ませ、朝食でのバランスのとれた食事内容について関心を高める。

対象：四万十市内の小学5年生、6年生および中学生

内容：自らの力で、朝ごはんにぴったりな主食、おかず、みそ汁を作る。

応募数：483点

結果：優れた作品を選出し、給食の献立として11月以降に取り入れる。

入賞者には賞状を授与するとともに、給食だより及び放送資料で紹介する

(3) アレルギーショックにおける緊急対応

昨年度に引き続き、養護教諭部会と情報共有しながら食物アレルギー（アナフィラキシーショック）の緊急時を想定した「アクションカード」活用のシミュレーション研修を実施した。今年度は昨年度末から各学校にアンケートをとるなど、年度当初から計画的に校内研等で実施することができた。エピペン所持の児童生徒が在籍するほとんどの大規模校で、消防と連携した事後の研究協議も行い、職員の危機管理能力を高めることができた。

4. 成果と課題

○朝ごはんコンテストでは、各校から多数の応募があった。工夫点への記入や、スプレッドシートでの提出もあり、写真だけではなく中にはイラストも丁寧に描けており、作品の意図がわかりやすかった。また例年家庭科の学習として取り組むなど、各学校での朝食の重要性についての継続的な指導にもつながった。

○シミュレーション研修の各学校での実施率が高くなり、危機管理への意識が定着しつつある。

●食生活調査の結果では、毎日必ず朝食を食べる割合が小学生では増加したが、中学生では減少している。また四万十市教育振興基本計画の目標値は達成できていない。朝ごはんコンテストの実施や給食献立、給食放送の内容を工夫し継続して啓発は行っているが、今後も給食指導や食育授業の内容を充実させるとともに、参観日や給食だよりでの啓発について研究を深めていきたい。

●各校でシミュレーション研修を定着させるため、消防署との連携方法をマニュアル化し、今後も養護教諭と連携を図りながら計画していきたい。